

スを持たれていますことに驚きました。

**野田** ナミねえがICTを駆使してチャレンジ（障がいを持つ人の可能性に着目した新しい米語）の自立と社会参画、就労の促進を「チャレンジドを納税者にできる日本」と訴えているスローガンと同じ経験をやっていたんだと気づかされました。

## 私の子育ての原点は 「あー今日も生きてる、うれしい」

—— 野田さんはHPに「仕事と育児の両立が始まって以来、好きな読書が入浴中にしかできなくなったのが少々辛い」とありますが、子育てと政治家の仕事の両立は苦労が多いですか。

**野田** 私の息子は仮死状態で生まれ、何度も手術をして死にかけてきましたから、「今日も生きててくれてありがとう」という気持ちです。大変ということより、毎朝思いっきり頭を叩かれて起こされたとき、「あー今日も生きてる、うれしい」という実感があるんです。そのことがいと嬉しいんです。

**竹中** 健常児のお母さん方は「生きているのが当たり前」やけど、聖子ちゃんや私はスタートラインが違うんやね。

**野田** そうね、真輝は医療の進歩が生んだ「新型障害児」と呼ばれている、医療ケアが必要な子なんです。今年4月から1年生になりましたが、医療ケアが必要な子どもたちは地元の学校に行けません。真輝は知的障害もあるので特別支援学校に通っているんです。

**竹中** 昭和54（1974）年、それまで障害のある子は就学免除という措置から全員就学ということになったんですが、そのとき重度の障害児を対象にした先生が訪問して教えてくれる訪問教育の第一号に娘のマキはなったんです。マキは4つ年上の兄がいるんです。

が、これ以前からお兄ちゃんと一緒に学校へ行き、遊んでいました。当時の学校は自由なところも結構あって、「マキたんルーム」と勝手に看板を掲げて道具部屋で遊んだりしていました。校長も眉をひそめながらも認めてくれていたら、その学校が障害児教育として注目されたんです。

**野田** 今でいうインクルーシブ教育が自然な形で生まれていたんですね。役所が取り組むと制度づくりを考えるので、どこかギクシャクしてしまうんだなあ～。

**竹中** 障害者の就労問題でも、同じようなことがあるんです。法定雇用率という制度がありますが、それが始めにあって、次に仕事となるんです。仕事は自分たちで作り出すもので、そのやり方は自分たちで考えることやと思うてるんやけど、法定雇用率の考えだと仕事に自分を合わせることになってしまふ。この制度のメリットは確かにありますが、反面では働けない人も生まれていることがあります。ですから、靴に合わせるのではなく、足に靴を合わせるという制度づくりを政治と行政に期待しています。

応が一番多く、政治家20数年の生活でかつてなかったことでした。自分たちの頭上をミサイルが飛んでいくわけですから、最悪の事態を防ぐために24時間の臨戦態勢でもあり、寝不足気味です。

**竹中** 北朝鮮のミサイル発射問題は国際的に対処すべき問題ですが、自然災害については国としてできることがまだまだあるように思っています。

**野田** 日本の国土を支える構造物は昭和の高度経済成長期に建設されたものが多く、老朽化に直面しています。こうした設備の保守・補修よりも、選挙がらみで新しく建てるということを優先する傾向がありますので、政治として対応すべき大きな課題です。ナミねえは阪神淡路大震災で実家が被災して燃えてしまったんだよね。

**竹中** そうなんやけど……。

**野田** 被災した立場から大事

## 20年を越える政治家生活で 初めて経験したことばかりの2カ月

—— 総務大臣としての仕事は2カ月、いかがでしたか。

**野田** この2カ月間、消防庁とJアラート対

竹中ナミ

1948年神戸市生まれ。神戸市立本山中学校卒。重症心身障がいの長女（現在44歳）を授かったことから独学で障がい児医療・福祉・教育を学ぶ。1991年、革の根のグループとしてブロック・ステーションを発足。1998年厚生大臣認可の社会福祉法人格を取得して理事長（現職）。ニックネーム：ナミねえ。文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会委員、財務省財政制度等審議会委員、内閣官房雇用戦略対策委員、社会保障国民会議委員、総務省情報通信審議会委員、内閣府中央障害者施策推進協議会委員、国土交通省歩行者移動支援プロジェクト委員などを歴任。1999年「エイボン女性年度賞 教育賞」受賞。2009年春、米国大使館より「勇気ある日本女性賞」を授与。2010年6月～2013年6月NHK経営委員。2012年4月、関西大学経済学部客員教授。2012年9月、経済産業省「ダイバーシティ経営企画100選」運営委員会委員。2013年10月、産経新聞厚生文化事業部理事。国土交通省「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員」。2007年11月より「ユニバーサル社会を創造する事務次官プロジェクト（10名の事務次官が参画する勉強会）」を主宰。2008年6月より「神戸スウィーツ・コンソーシアム（KSC）」を日清製粉と共同開催。